

〔校訓〕
かしこく
ゆたかに
たくましく

教育目標：「生きる力」を身につけ、なごみの未来を創る児童生徒の育成

みかわ小だより No.11

R4. 10. 6 文責 村上

～夢に向かって知恵いっぱい、笑顔いっぱい、元気いっぱいに育つ三加和っ子～

前期終了・・・頑張った子どもたちに拍手！

前期がいよいよ終わります。終了式では全員に担任の先生からのプレゼント(通知表)が渡されます。事前に読ませていただきましたが、一人ひとりのがんばりを讃え、後期への意欲づけの言葉が綴られていました。明日は、まず、通知表を見ながら、誉めてあげてください。前期、一日も休まず学校に行ったこと、音読を続けたこと、発表をがんばったこと、友達と仲良くできたこと等々、成長した足跡があるはず。そして後期のめあてを一緒に話し合っていたと思います。1年間の節目に新たなめあてを立て、心も体も伸びていってほしいです。後期も151名が元気に学校に登校できることを願うばかりです。

1年生の二人組の話し合いの様子↓

1年生研究授業実施 9月26日

9月26日に1年生の研究授業が行われました。算数科「たしざん」の授業です。3連休あけの月曜日、しかも5時間め。中学校の先生方も参観される小中合同の研究会でした。そのような中でも、緊張することなく、担任の坂井先生の指示に従っててきぱきと動き、学ぶ1年生の姿は本当にすばらしかったです。「めあて」や「まとめ」も丁寧にノートに書いていました。二人組で話し合いをする場面も設けてあり、学習規律が身に付いてきた1年生。「はやく・かんたんに・せいかくに」計算ができる「たしざんはかせ」になれる日も近いでしょうね。



手話体験の様子→

手話体験4年生 9月27日

4年生は、総合的な学習の時間に福祉に関する学習を行っており、前期後半には、「手話」の体験をしています。社会福祉協議会の方々に教えていただいて、少しずつ手話でお話できるようになってきました。誰もがすみよい町にしていけるために、まずは知ること。耳の不自由な人とも、会話する方法を知っていれば、お互いに心を通じ合わせることが出来ますね。手話で「さようなら」とお見送りしていた4年生が頼もしく見えました。



放鳥体験6年生 9月29日

9月29日に6年生がキジの放鳥を行いました。環境保護や生き物とのふれあいを目的に、県猟友会が行っておられる事業です。一羽ずつ大事に抱きかかえ、空に放っていました。抱えた時の温かみを肌で感じ、生きている命の大切さを実感するよい機会となりました。



放鳥の様子→



三加和小ミニオリンピック開催10月4日

4・5・6年生で「ミニ陸上記録会」を実施しました。100メートル走とリレーの2種目を実施しました。5月の運動会の時期には他の競技の練習があり、なかなか徹底して練習を行うことができていませんでした。この陸上大会はバトンパスの練習のよい機会となりました。

100メートル走とリレーをがんばる4・5・6年生↓



リレーは持ちタイムから、何秒縮められたかを競うやり方でした。つまりバトンパスをスムーズに行ったチームが勝ちです。走力もバトンパスもぐーんと上手になった子どもたちです。

＜前期のお礼＞先日のPTAリサイクル活動は大変お世話になりました。無事に終わり、ほっとしているところです。保護者の皆様方にはお忙しい中にご協力いただきありがとうございました。

前期の終了式を迎える頃となりました。前期は、新型コロナウイルスの感染拡大の中、教育活動を進めていくことに不安な時期もありました。しかし、集会をリモートにしたり、オンデマンドにしたり、様々な工夫をしながら進めてきました。10月4日には、三加和小独自のミニオリンピックを開き、陸上競技の楽しさを味わったところです。今後も各学年の見学旅行が続き、10月末には、6年生の修学旅行が控えています。子どもたちにとってかけがえのない日々を充実したものにしていきたいと思っています。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。